



令和4年度予防接種のお知らせ

《ヒトパピローマウイルス感染症（HPV）》

定期接種の HPV ワクチンは、平成25年6月から、積極的な勧奨を一時的に差し控えておりました。令和3年11月に、専門家の評価により、HPV ワクチンの安全性について特段の懸念が認められないことが確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められたため、積極的な勧奨を再開することになりました。

【ヒトパピローマウイルス感染症（HPV）予防接種とは】子宮頸がんを起こしやすいタイプである HPV16型と18型の感染を防ぐことができます。そのため、子宮頸がんの原因の50～70%を防ぐといわれています。

【対象者】小学6年生（12歳相当）から高校1年生（16歳相当）の女子

※今年度は、小学6年生（12歳相当）と高校1年生（16歳相当）の女子に通知を送付します。

【接種期間】12歳となる日の属する年度の初日から16歳となる日の属する年度の末日まで

※令和4年度高校1年生は、令和5年3月31日までとなります。

【その他】詳細な情報をお知りになりたい場合は、厚生労働省ホームページをご確認ください。

《風しん抗体検査・予防接種》

【昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性の皆様へ】

対象の年代の男性は、過去に公的に予防接種が行われていないため、自分が風しんにかかり、家族や周囲の人たちに広げてしまうおそれがあります。

対象者は、風しん抗体検査・予防接種を無料で受けることができます。この事業は、令和3年度までの事業でしたが、実施期間が延長されました。

接種の際には、クーポン券が必要です。対象の方には、クーポン券を送付しています。

クーポン券の有効期限は、**令和5年3月31日まで**ですのでご注意ください。

【風しんに感染するとどうなるの？】

自覚症状が少ないため、電車や職場など人が集まる場所で、気づかないうちに多くの人にうつしてしまう可能性があります。

妊娠初期の妊婦さんが風しんに感染すると、おなかの赤ちゃんの耳・目・心臓などに大きな影響がでることがあります。



《高齢者の肺炎球菌》

高齢者の肺炎の原因で最も多く、重症化をしやすなのが肺炎球菌です。肺炎球菌の予防接種には、肺炎の予防や肺炎にかかっても軽い症状ですむ効果が期待できます。

【高齢者の肺炎球菌予防接種】

接種期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
対象者 (①②のいずれかに該当)	①令和4年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の人 ②60歳から65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に日常生活が極度に制限される程度の障害や、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活が不可能な程度の障害がある人
接種回数	1回のみ
接種料金	自己負担額2,400円
接種場所	県内の受託医療機関
持参物	住所・年齢が確認できるもの（保険証、免許証など）

【注意事項】

◎すでに肺炎球菌ワクチンの接種を受けたことがある人は、助成の対象となりません。

◎できるだけかかりつけ医で接種してください。

【接種料金の免除】

生活保護世帯・住民税非課税世帯の人は接種料金が免除（無料）されます。必要書類を医療機関の受付に提示してください。

【接種料金免除の対象者と必要書類】

〈生活保護世帯〉…診療依頼書

〈住民税非課税世帯〉…非課税証明書

（税務課窓口にて無料で発行）

※非課税証明書発行の際は、申請者の身分証明書が必要です。住民票が同じ世帯でない方が申請する場合は「委任状」が必要です。

※免除の書類を持参せずに自費で接種した場合、町は払い戻しできません。

問合先／○健康福祉課 健康推進係 ☎65・0001

○税務課 税務係 ☎65・1076